

アクションプログラムに参加するには？

STEP 01 グリーン購入ネットワーク (GPN) のホームページから
「評価チェックリスト」(Excel) をダウンロード **ホームページ**
<http://www.gpn.jp/>

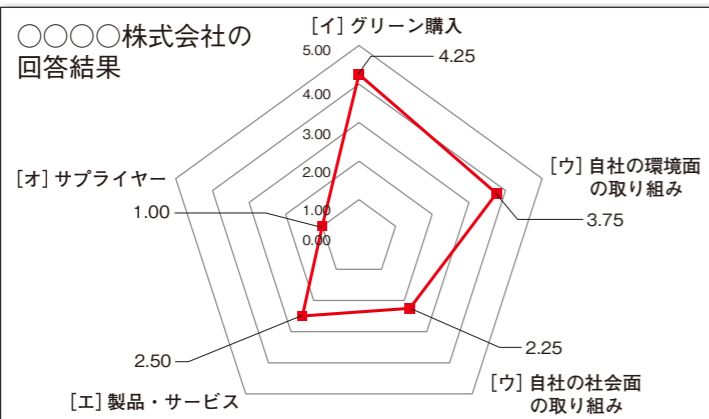
STEP 02 「評価チェックリスト」に自社の取り組みを入力

STEP 03 記入した「評価チェックリスト」を
GPN事務局へメールで送付 **メールアドレス**
gpn@gpn.jp

STEP 04 GPN事務局から評価結果を送付 **会員無料**
「評価チェックリスト」を提出すると、事務局から評価結果が送られてきます



評価結果(例) 団体名: ○○○○株式会社 回答日: 2018年△月××日



4段階評価 (A・B・C・D)

B

～事務局よりご案内～
評価結果によって、取り組み向上につながる
研修会や情報等をご案内致します。

グリーン購入ネットワーク (GPN) とは？

グリーン購入を促進するために、1996年に設立された、企業・行政・民間団体などによる緩やかなネットワーク組織です。持続可能な社会経済の構築に寄与するため、グリーン購入活動を促進し、普及啓発や情報提供、調査研究などを行っています。

グリーン購入ネットワーク (GPN)

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-4-16
馬喰町第一ビル9F

TEL 03-5642-2030 WEB <http://www.gpn.jp/>

FAX 03-5642-2077 E-mail gpn@gpn.jp



サステナブルな未来へ向かってセルフチェック！

WEBで
登録受付中！

持続可能な調達 アクションプログラム

12 つくる責任 つかう責任



持続可能な調達 アクションプログラムとは…

グリーン購入ネットワーク(GPN)は、1996年から「消費と生産」を通じて、社会課題である環境問題を解決するためにグリーン購入の普及に取り組んできました。

しかし、私たちが消費する製品や私たちが暮らす社会において、環境問題の他に、貧困や法令遵守、労働者の権利の確保等の社会課題に対して取り組むことが求められるようになりました。

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピック競技大会においても、環境問題に加え、社会面にも配慮した(持続可能性に配慮した)基準に基づき、物品やサービスの調達が行われます。また、SDGs*では、持続可能な消費と生産の形態を確保することが目標の一つとして掲げられています。

持続可能な社会を構築するために、「消費と生産」に持続可能性の観点を付加することが必要です。そこで私たちGPNは、持続可能な消費と生産を基盤とした社会構築に向けた変革を目指すため、当プログラムを開発しました。

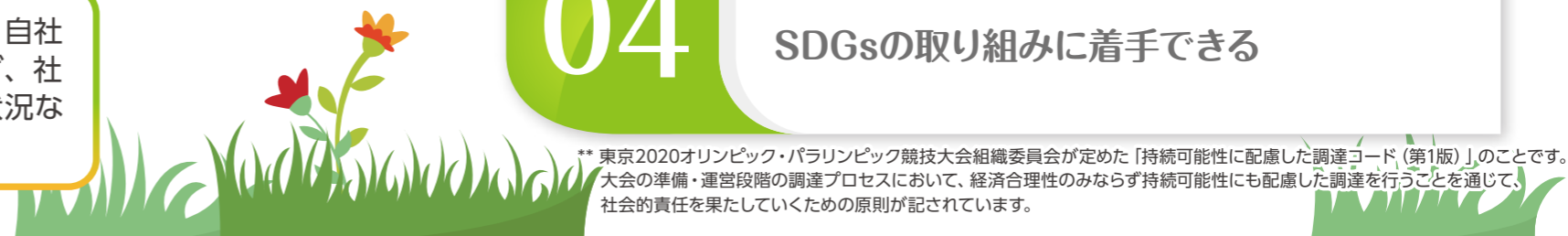
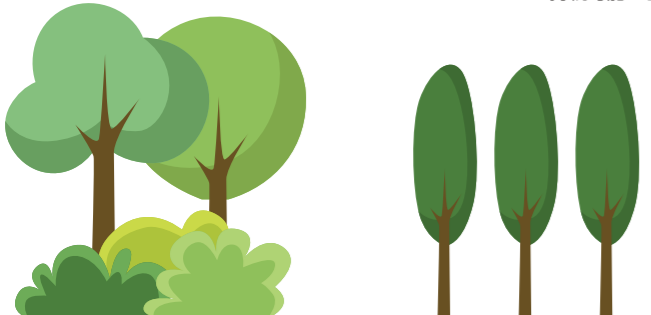
*2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された国際目標で、持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成されています。

持続可能な調達アクションプログラムは、自社や自社製品・サービスの環境面のみならず、社会面の取り組みやサプライヤーへの確認状況などをセルフチェックするプログラムです。

アクションプログラムに参加するメリット

- 01 自社の環境・社会面の取り組み度を客観的に評価できる
- 02 評価結果で自社の課題が明確になる
- 03 東京2020オリンピック・パラリンピック調達基準(オリパラ調達コード)**への達成度を確認できる
- 04 SDGsの取り組みに着手できる

**東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が定めた「持続可能性に配慮した調達コード(第1版)」のことです。大会の準備・運営段階の調達プロセスにおいて、経済合理性のみならず持続可能性にも配慮した調達を行うことを通じて、社会的責任を果たしていくための原則が記されています。



～ チェックリストの概要 ～

- 1 5つの大項目(A～オ)から構成されています。
- 2 中項目(A～G)では、欄に対応するSDGsのアイコンを記載しています。
- 3 回答いただく小項目には3つの選択肢があり、取り組み度に応じて配点しています。
- 4 「オリパラ調達コード」と関連する小項目は、当てはまるコードの番号を記載しています。

1 [ア] 企業情報	基本情報／報告書の発行状況／所属団体／表彰制度／格付け・SRI調査の状況
[イ] 自社のグリーン購入の取り組み	グリーン購入の取り組み
[ウ] 自社の環境面・社会面の取り組み	法令遵守／環境への取り組み／人権・労働等／公正取引・倫理／情報セキュリティ／その他
[エ] 自社の製品・サービスに関する環境面、社会面の取り組み	入札対象製品もしくはPR商品／環境ラベルの取得状況、LCA、環境配慮設計等／製品・サービスの原材料／その他
[オ] サプライチェーンへの取り組み	サプライヤーへの確認等

- 3 各項目とも、回答選択肢は3段階とし、基本的には1を2点、2を1点、3を0点として評価します。
- 3 人権、労働等の小項目では、該当する方針の策定状況と、その方針の運用状況について選択肢を設けています。方針と運用をどちらも回答を行ってください。

[イ] 自社のグリーン購入の取り組み			
項目	設問	選択肢	回答 *
A. グリーン購入の取り組み			
(1) グリーン購入調達方針	1	方針を定め、公表している	
	2	方針を定めているが、公表していない	
	3	方針等は定めていない	
(2) グリーン購入の取り組み状況	1	調達方針をもとに組織的に取り組んでいる	
	2	担当者の判断、または調達方針は策定していないが組織的に取り組んでいる	
	3	取り組んでいない	
(5) 女性の権利尊重 オリパラ調達コード： (3) 人権 (4) 女性の権利尊重	方針	1 行動規範等を定め、公表し、取り組んでいる 2 公表はしていないが行動規範等を定め、取り組んでいる 3 関連する行動規範等は特に定めていない	(3) (4)
	運用	1 定期的に社内調査等を実施し、問題がないか確認をしている 2 問題がないか、実態の把握に努めている 3 違反等の問題の有無について実態を把握していない	(3) (4)
	方針	1 行動規範等を定め、公表し、取り組んでいる 2 公表はしていないが行動規範等を定め、取り組んでいる 3 関連する行動規範等は特に定めていない	(3) (5)
(6) 障がい者の権利尊重 オリパラ調達コード： (3) 人権 (5) 障がい者の権利尊重	運用	1 定期的に社内調査等を実施し、問題がないか確認をしている 2 問題がないか、実態の把握に努めている 3 違反等の問題の有無について実態を把握していない	(3) (5)

- 2 SDGsに関連した分野のマークを掲載
- 4 小項目の文章のうち、「オリパラ調達コード」と関連するものは、当てはまる調達コードの番号を記載しています。

